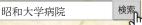
病院 だより 2023年1月号 第422号







昭和大学病院附属東病院検索

発 行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院発行責任者 昭和大学病院長 相良 博典編集責任者 広報 委員長 山岸 昌一〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

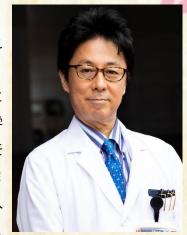
TEL:03-3784-8000(代表)

ご挨拶

昭和大学病院 病院長 相良 博典

新年明けましておめでとうございます。

今年は、昭和大学の前身、昭和医学専門学校と附属医院が設置されてから数えて、95年となります。昭和大学病院がここ旗の台の地で成長し、地域の皆様に支えられ、発展する機会に恵まれたことは、大変光栄なことです。戦中、戦後と幾多の試練を乗り越えてきたでしょうか。時代のニーズを先取りしながら、大学附属病院による高度医療や地域医療を充実させるとともに、世界へと挑戦の場を広げ、その実績は国際的にも高い評価を得てきました。しかし、20代目の病院長を拝命した私にとって、世界一を目指すことよりも重要なことは、ひとり一人の患者さん、職員、地域の皆様にとって、信頼に足る病院であり続けることです。「患者本位の医療」「高度医療の推進」それらを実現できる「医療人の育成」。これらの理念が、私たちの拠り所であり、北極星なのだと思います。



様々な問題が起こりましたが、正面から向き合い、一つずつ解決してきました。ぎりぎりの状況が続いたからこそ、そこに差し伸べられる手の温かさにも、改めて気付くことが出来ました。立ち行かないことがあったからこそ、柔軟に考えることや、本当に大事にすべきモノが何かを学ぶことができました。その分、私達は、また成長できたのではないかと思います。これまでよりもまた少し、頼りにしていただける強さが身についてのではないかと思います。

コロナ禍という荒海の航海は未だ続いています。その中で、職員の皆さんが、職務を全うしようと必死に努力してくれたことに、深い敬意と感謝を捧げたいと思います。

多職種連携のチーム医療の創意工夫で、難局を乗り越えてくれたことを、誇りに思います。

「艱難汝を玉にす」という名言がありますが、苦労や困難さが人の器を大きく、立派にします。また、サンスクリット語で書かれた経典には、「物事の成功は、その手段の如何によってではなく、その人の心の純粋さによる」とのことが書かれています。ただひたすらに、一心に、努力を重ねれば人生の豊かさを享受できるということを、何千年も前の知恵ある人々は知っていたのですね。

昭和大学病院という一つの船に乗り合わせた私達ですが、心に思う大事なものは、それぞれに違う事を 知っています。同じ景色を目にしていても、その感じ方も違うでしょう。しかし、この仕事の拠り所とな る北極星は、等しく共有してくれているものと思います。

チームと、集団の違いは、同じ目標の有無であると言われます。昭和大学病院の誇るチーム医療を、今年も磨いて参りましょう。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

昭和大学病院附属東病院 病院長 稲垣 克記



新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年の干支は「卯(うさぎ)」。「卯」は字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があると言われ、これまでの努力が花開き実り始めることを表しているそうです。また、卯は穏やかで温厚な性質であることから、「安全」を意味しその跳び姿から「飛躍」と「向上」を象徴するため、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。

昭和大学病院附属東病院は2020年から眼科、整形外科、形成外科、脳神経内科、リウマチ膠原病内科、精神科、ペインクリニック、睡眠医療センター、呼吸ケアセンター、甲状腺センターの陣容となりました。頭頸部腫瘍センターの一部の手術と腫瘍内科の入院治療も行なっております。新年となり、卯のように伸びしろの大きな、機動力のある病院を目指して、病院内の担当部署を中心に新たな体制と医療提供を行ってゆきます。当院は昭和大学病院と電子カルテで情報が共有できるシステムになっており、建学の精神である患者さんの意思を最も尊重しながら良質の医療を提供し今日に至りました。

本年も地域の皆様のご期待に応えるべく昭和大学病院附属東病院はより一層、努力してまいります。 さらには都内の伝統校として診療だけでなく教育と研究も含めて世界に向けた医療を目指し高いしべルを保ってゆかなければなりません。本年度も東病院は昭和大学病院と連動・連携しながら、時代にみあった新しい医療へのイノベーションを続けてゆきます。

明日へのより良い医療をチーム一丸となって皆様とともに想像し共に歩んで参りましょう。



乳がん治療 ぜい昭和大学病院 へご紹介ください

~個々の乳癌患者さんに適した最新治療を 『ブレストセンター』にて提供いたします~



特任教授:中村 清吾 2010年6月就任 専門:乳癌、遺伝性乳癌 セカンドオピニオン外来:

<u>火曜日AM</u> ※完全予約制、 オンラインセカンドオピニ オンも対応しています。



診療科長 教授:林 直輝 2022年10月就任 専門:乳癌

外来日:水曜日AM ※林医師宛にご紹介状 をお持ちください。 まずは初診医で診察後、 林医師の外来予約とな ります。

HOWA UNIVERSITY HOSPITAL BREAST CENTER

乳癌の診断、手術、薬物治療は日々進歩しており、患者さんに応じた個別化が進んでいます。乳腺専門医を中心に、各科と連携やチーム医療を通し、個々の患者さんに最適の治療を実践いたします。

【 初 診 外 来 】月~金曜日 【セカンドオピニオン】土曜日(完全予約制) ※予約は医療連携室まで

豊富な治療・手術経験

年間500件以上の乳癌手術を行う全国有数の病院です。形成外科、産婦人科、 腫瘍内科、放射線科、放射線治療科など多科連携による治療が可能です。

特徴の

ブレストセンター内で検査から診察まで可能

中央棟3Fブレストセンター内で診察、マンモグラフィ、超音波などの検査が可能です。ブレストセンター内には患者さんのためのリボンズハウスが併設されてます。

遺伝性乳癌の診療・研究

遺伝性乳癌を疑う症例の経験が豊富です。乳癌発症がなくても遺伝性乳癌の 心配がある方の遺伝カウンセリングも専任の遺伝カウンセラーが対応いたし ます。また、様々な研究も行っております。

小児病棟へクリスマスプレゼントをいただきました

12/16 「みんなのレモネードの会」榮島様より

12月16日(金)に一般社団法人「みんなのレモネードの会」の代表をされている榮島四郎様より、クリスマスプレゼントが贈られました。

一般社団法人「みんなのレモネードの会」は、小児がん 患児家族の立場から、小児がん啓発活動、患児やその家族 の交流会などの活動をしており、その活動の一環として当 院にプレゼントを贈呈いただきました。この場をお借りし て厚く御礼申し上げます。







12/19 「 歌 の カ 」 の 皆 様 よ り

12月19日(月)にNPO法人「歌の力」の皆様より、クリスマスプレゼントが贈られました。 NPO法人「歌の力」は、こどもや高齢者に対するチャリティーイベント企画やボランティア活動、国際親善活動事業を行っており、その活動の一環として当院にプレゼントを寄贈いただきました。贈られたプレゼントは、クリスマス会でこども達へ配布するとともに、病棟のプレイルームで大切に使わせていただきます。





でより意識いたしき

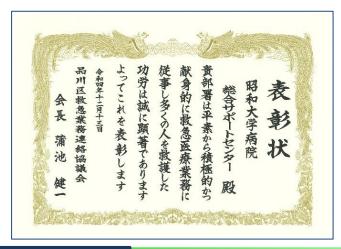
トピック

品川消防署救急業務功労部署として表彰されました

当院の総合サポートセンターが品川消防署救急業務功労部署とし て表彰されました。

この表彰は、救急医療及び地域医療等の重要性を認識し、救急医療 等の推進に貢献した医療従事者へ贈られるものとなっております。 今年度は、総合サポートセンター全体に表彰状が贈られ、日ごろの救 急医療業務活動が評価されました。







お知らせ

医師の配属・異動・退職について

新規配属

【新規採用】2023年1月1日付

- ●麻酔科 野口ひかり
- 【附属施設から】2023年1月1日付
- ●リウマチ・膠原病内科 下川麻由(藤が丘病院から)
- ●リウマチ・膠原病内科 米村 耀(藤が丘病院から) ●乳腺外科 村上祐季(江東豊洲病院から)
- ●産婦人科 藤岡淳朗(江東豊洲病院から)
- ●消化器・一般外科 西林奈保(江東豊洲病院から)
- ●小児外科 若生彩佳(江東豊洲病院から)
- ●救命救急科 ●脳神経外科 中村彰宏(横浜市北部病院から) ●放射線治療科 新谷暁史(横浜市北部病院から)
- ●糖尿病・代謝・内分泌内科 江波戸彩乃(横浜市北部病院から) 【学外研修から】2023年1月1日付
- ●脳神経外科 長塚大騎
- ●乳腺外科 足立光希

●救命救急科

●小児外科 木村翔大

●消化器内科 長田知恭 (藤が丘病院へ)

●産婦人科 西ケ谷温希(江東豊洲病院へ)

●形成外科 辰田紗世 (藤が丘病院へ)

●放射線治療科 原田堅(横浜市北部病院へ)

幕内陽亮(江東豊洲病院から)

大乗志帆(江東豊洲病院から)

異動

【附属施設へ】2023年1月1日付

- ●皮膚科 佐々木大和(江東豊洲病院へ)
- ●リウマチ・膠原病内科 櫻井友渚(江東豊洲病院へ) ●消化器・一般外科 岡野貴彦(江東豊洲病院へ)
- ●脳神経外科 市川綜一郎(横浜市北部病院へ)
- ●脳神経外科 阪本有(横浜市北部病院へ)
- ●消化器・一般外科 山崎公靖(横浜市北部病院へ) 【附属施設へ】2023年1月4日付
- ●糖尿病・代謝・内分泌内科 小澁正和(横浜市北部病院へ) 【学外研修へ】2023年1月1日付
- ●脳神経外科 東園和也
- ●産婦人科 廣瀬梨紗
- ●救命救急科 富永美璃
- ●産婦人科 川嶋章弘
- ●糖尿病・代謝・内分泌内科 佐藤展子

●リハビリテーション科 星瑛里子

退職

2022年12月31日付

- ●循環器内科 新井帝東
- ●循環器内科 酒井陸郎
- ●皮膚科 山本彩夏
- ●泌尿器科 七条武志
- ●循環器内科 佐藤俊弥
- ●救命救急科 峯陽子

●食道がんセンター 藤政浩一朗

サンクス!グッドプラクティスパートナー(第31回)

当取り組みは、昭和大学病院・附属東病院において関係職種間での行動(臨床に関する事項)を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、チーム力を高めることで患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

乳腺外科から看護部へのありがとう!



ブレストセンター・C8Bの 看護師の皆さんへ

乳癌の患者さんの、医師には話しにくい治療や生活に関わる悩み等を、外来、入院を通じて連携して拾い上げて解決に導いていただいています。

【患者さんに与えた良い影響】

納得いく治療選択や、治療に関わる悩みの解決に繋がっています。 いつもありがとうございます。

総合サポートセンターの 皆さんへ

乳癌の患者さんの治療に 関わる環境の調整や、治療 費の相談等、多岐にわたる 支援をいただいています。

【患者さんに与えた良い影響】

外部施設やご家族との調整等対 応いただき、患者さんのより良 い生活に繋がっています。 いつもありがとうございます。



看護部から栄養科へのありがとう!



栄養科 柳川 多佳子さんへ

病棟の患者さんの食事形態や摂取 量、嗜好などを聴取した上で、NST 介入を行ってくださいます。

【患者さんに与えた良い影響】

摂取量が低下している患者さんも、形態や量を変更することで、摂取量があがったり、 採血データや本人の食事に対する意欲もあがりました。

配膳係 風間さんへ

毎回、配膳車で食事を持ってくる際、 元気な声で挨拶をしてくれます。そ の挨拶は丁寧に大きな声で笑顔と拝 礼です。私たちに元気を与えてくれ、 とても気持ちがいいです。

【患者さんに与えた良い影響】

患者さんに笑顔と勇気を与える、丁寧で親切な対応です。



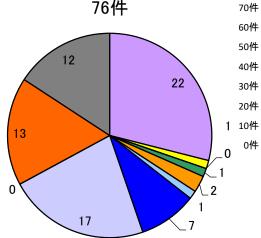
日頃よりチーム医療にご協力頂きありがとうございます。今後とも、よろしくお願いいたします。

ご意見・ご要望		回答 部署
採尿時、トイレ内に採尿カップが置けるグッズがあると助かります。 2つ採尿する際、立てかけておくことも難しいです。 年配の方は、より一層難しいと思います。	この度はご不便をおかけし申し訳ございません。また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 担当者と共に 10月27日に現地調査をさせていただき、トイレ内にカップが置ける壁掛け棚の設置を検討させていただいております。 ご不便をお掛けしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。	管理課
スタッフ間の情報共有、チーム医療、 そして何より日頃の患者への声掛けや気 遣いが素晴らしいと感じました。 入院はもうしたくありませんが、スタ ッフの方々にはまた会いたいと思う複雑 な心境です。 全体的にスタッフのレベルが非常に高 いです。 ありがとうございました。	この度は、スタッフに対する過分なお言葉をいただき、大変励みになりました。 緊急入院されて不安も大きかったことと存じます。 無事にご退院を迎えられたことに、私どもも安堵しております。 今後もより良いチーム医療と看護が提供できるよう、スタッフー同努力して参ります。 ご意見ありがとうございました。	看護部

2023年1月号掲載分 100件 ご意見・ご要望の内訳 昭和大学病院•東病院総件数 76件

90件

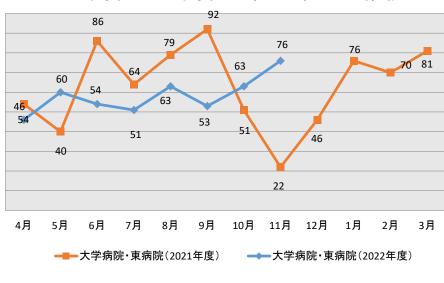
80件



□態度・接遇 □診療内容 □予約 □待ち時間

- ■食事
- □会計システム
- ■売店
- □環境(清掃·設備備品·エレベーター)
- □環境(駐車場)
- ■感謝

2021年度・2022年度ご意見・ご要望の推移





お知らせ

2023 年 1 月 9 日(月・祝)の診療体制について

2023年1月9日(月・祝)の外来診療は以下の通りとさせていただきます。

患者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

対象日	診療状況	
刈家口	外来	救急外来
2023年1月9日(月•祝)	臨時診療日 【内科系】【小児科】 8:30~17:00	救急診療は 通常通り実施します。

※臨時診療日は人員を縮小しているため、専門医による診療を提供できない可能性があることを予めご了承ください。

※臨時診療日は、休日加算および時間外選定療養費(注)(8,800円)を 徴収いたします。

(注)紹介状持参、当院かかりつけで予め来院指定の患者さんは時間 外選定療養費の徴収はありません。



編集後記

臨床病理検査室 渡邊 聡

年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。

2023年の小寒は1月6日から1月19日です。日本には一年間を24分割し、それぞれに季節を表す言葉をつけた二十四節気という言葉があります。小寒とは、23番目の二十四節気のことを指します。本格的な冬の寒さが訪れる時期です。この時期の1月7日に「七草粥」を食べて無病息災を願う風習があります。

新型コロナに加え、風邪やインフルエンザも流行しやすい時期です。体調を崩さないよう気をつけてください。

昭和大学病院・附属東病院の理念

- ・患者本位の医療
- ・ 高度医療の推進
- ・医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- ・特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、 質の高い医療を提供する。
- ・教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し:患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し: 医療関係者向け

緑色見出し: 医師の配属・異動・退職について

病院広報委員会委員: 稲垣 克記、入山 洸希、大江 克憲、岡崎 靖子、鷲見 賢司、富田 英、

並木 美加子、安田 光慶、山岸 昌一、山下 剛史、吉田 仁、吉村 久美、

渡辺 愛理、渡邊 聡(50音順)